

令和7年度
(令和6年12月～令和7年11月)

環境経営レポート



発行日: 令和8年2月27日



株式会社毛利建設

環境経営方針

株式会社 毛利建設は、地域に密着した建設会社として、小さなことの積み重ねで、地域と一体となり、環境に配慮した事業活動を継続的に行ないます。

【行動指針】

1. 次の事項に取り組みます。

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素の削減
- ②節水
- ③産業廃棄物の排出量の削減・分別・再使用・再生利用及び適正処理の実施
- ④環境に配慮した施工(事故防止・手戻り防止・苦情防止)の実施
- ⑤グリーン購入の推進
- ⑥地域活動及びボランティア等の参加

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

3. 豊かな経験に裏付けされた高い技術力、安心・安全の確実な施工を通じて、品質の高い建築物を提供します。

4. 環境経営方針は、全従業員に周知徹底します。

制定日 平成22年 10月 30日

改定日 令和5年 12月 1日

株式会社 毛利建設

代表取締役 毛利 浩二

取組の対象組織・活動

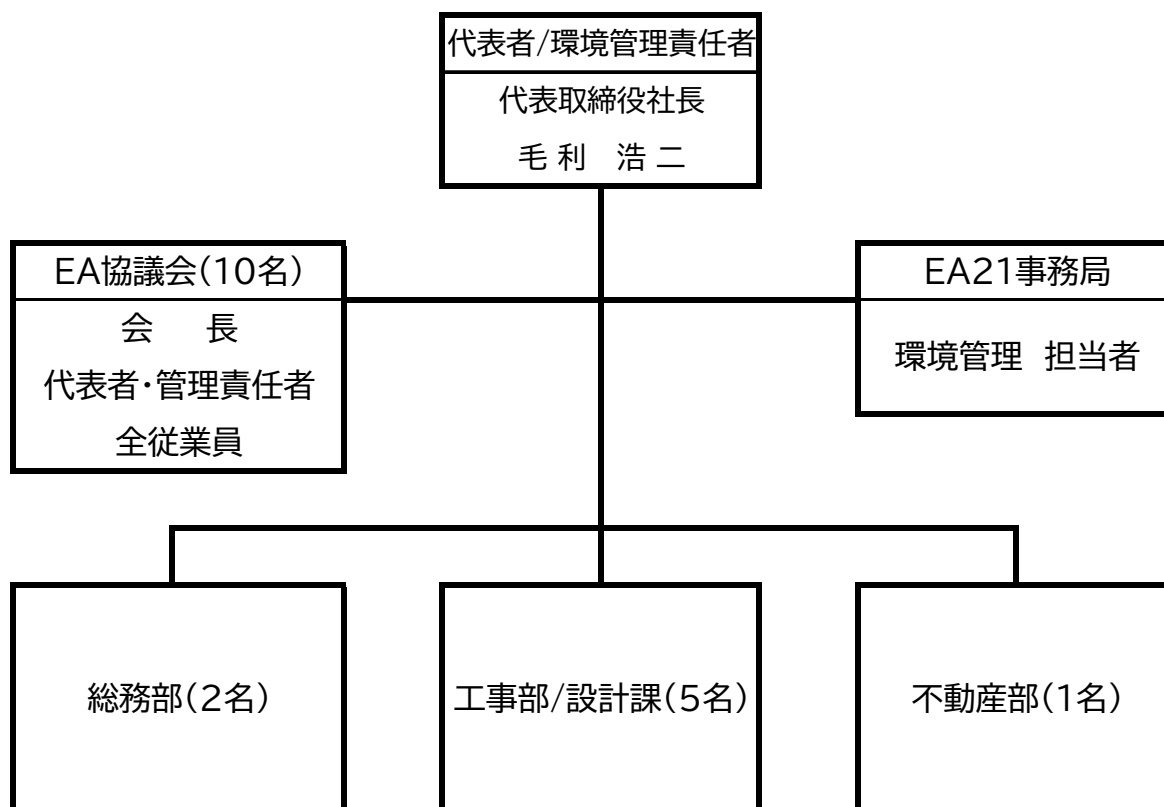
【 1.組織の概要 】

1) 事業者名	
事業者	株式会社 毛利建設
代表者	代表取締役 毛利 浩二
2) 所在地	
本社	〒814-0032 福岡市早良区小田部2丁目18番13号
倉庫及び加工場	同 上
3) 環境管理	
責任者	代表取締役 毛利 浩二
担当者	総務部 坂 口
連絡先	TEL (092)831-0188 FAX (092)831-0088
4) 事業内容	建築工事 一式
5) 事業規模	
売上額	72,972 万円
従業員数	10 名
本社	延床面積 140㎡
倉庫及び加工場	延床面積 484㎡
6) 事業年度	12月～翌年11月

【 2.認証・登録の範囲 】

1) 対象事業所	本社・資材倉庫及び加工場
2) 事業活動	建築工事業
3) 対象組織・活動	全組織・全活動

4)EA21実施体制



【 役割分担表 】

所 属	役割・責任・権限
代表者(取締役) 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を作成 ・経営資源の準備及び全体の見直し評価 ・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 ・環境関連法規の取りまとめと遵守状況の把握。
EA21 事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類の作成・維持・管理を行う。
EA 協議会 全 従 業 員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。
総 務 部 設 計 課 不 動 産 部	・事務所の環境活動計画の実施
工 事 部	・現場環境活動計画の実施

【3.環境経営目標とその実績及び評価】

(1)電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素量の削減

事務所		(基準年:九州電力 令和4年度調整後排出係数0.385kg-CO2/kWh)				
環境目標	目標実績	単位	令和5年度 基準年	R6年度	R7年度	R8年度
二酸化炭素排出量の削減	目標	(kg-CO2)	22,729	基準値の1% 22,502	基準値の2% 22,274	基準値の3% 22,047
	実績	(kg-CO2)		25,163	27,469	-

*二酸化炭素排出量削減

※二酸化炭素排出量は電気使用量・ガソリン使用量である。

※電気使用量は、事務所11, 875kwh、ガソリン使用量は、事務所9,867リットルである。

現場		(基準年:九州電力 令和4年度調整後排出係数0.385kg-CO2/kWh)				
環境目標	目標実績	単位	令和5年度 基準年	R6年度	R7年度	R8年度
二酸化炭素排出量の削減	目標	(kg-CO2)	2,393	基準値の1% 2,369	基準値の2% 2,345	基準値の3% 2,321
	実績	(kg-CO2)		3,698	2,020	-

*二酸化炭素排出量削減

※二酸化炭素排出量は電気使用量・ガソリン使用量である。

※電気使用量は、現場3, 922kwh、ガソリン使用量は、現場200リットル、灯油18リットル

(2)節水

事務所・現場		対象事業所 本社・資材倉庫及び加工場				
環境目標	目標実績	単位	令和5年度 基準年	R6年度	R7年度	R8年度
水使用量の削減	目標	m ³	95	基準値の1% 94	基準値の2% 93	基準値の3% 92
	実績	m ³		100	208	-

*水使用量の削減

※全社員が節水に力を入れ、削減に努めたが、目標には至らなかった。

※水使用量の削減は、限界にきている。今後、目標の見直しが必要である。

(3)廃棄物の排出量の削減・リサイクルの推進

事務所・現場						
環境目標	目標実績	単位	令和5年度 基準年	R6年度	R7年度	R8年度
廃棄物排出量の削減	目標	kg	56	基準値の1% 55	基準値の2% 55	基準値の3% 54
	実績	kg		278	128	-
コンクリート塊・建設発生木材のリサイクルの徹底	目標	率	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
	実績	率	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	-	-

*廃棄物排出量の削減

※廃棄物排出量の削減は、現場条件により廃棄物の量が変わる。このため、量の削減には限界がある。量の削減からリサイクル率の削減に見直す必要がある。

*コンクリート塊・建設発生木材のリサイクルの徹底

(4)環境に配慮した施工(事故防止、手戻り防止、苦情防止)

現 場		目 標	単 位	令和5年度 基準年	R6年度	R7年度	R8年度
環境目標	目 標		件	0	0	0	0
	実 績		件	0	0	0	-

*環境に配慮した施工

※事故防止の為、毎日KY活動や安全パトロールを行った。今後も徹底していきたい
 ※手戻り防止の為、下請業者との綿密な打合せをし、資材発注の内容を確認した
 今後も徹底していきたい
 ※苦情防止の為、施工管理の徹底、近隣挨拶の徹底をした
 従業員へ再度徹底していくように朝礼で依頼した

(5)グリーン購入

事 務 所		目 標	単 位	令和5年度 基準年	R6年度	R7年度	R8年度
環境目標	目 標		件	8	8	8	8
	実 績		件	8	8	8	-

*グリーン購入

*エコ商品及びグリーン購入法適用商品に配慮し、購入する商品を決定した。
 今後も徹底していきたい。

現 場		目 標	単 位	令和5年度 基準年	R6年度	R7年度	R8年度
環境目標	目 標		件	6	6	6	6
	実 績		件	6	6	6	-

*グリーン購入

*建築再生材を利用するなど徹底できている。今後も徹底していきたい。

(6)地域活動及びボランティア等の参加

事 務 所 ・ 現 場		目 標	単 位	令和5年度 基準年	R6年度	R7年度	R8年度
環境目標	目 標		年/回	1	1	1	1
	実 績		年/回	1	1	1	-

*地域活動及びボランティア等の参加 *今回は、香椎宮境内・周辺の清掃に参加した。今後も積極的に参加していきたい。

※化学物質の使用は、微量のため目標としては設定していない。
 尚、使用にあたっては適正管理を行う。

【4.環境経営計画及びその他取組結果と評価結果並びに次年度取組内容】

(1)二酸化炭素排出量の削減

【 事務所 】			
取組対象	取組計画	取組結果	評価(今後の取組方向も含む)
電気使用量の削減 (2%)	・冷房温度 26℃ ・暖房温度 26℃ ・冷暖房のフィルター清掃 ・不要照明の消灯	○	節電意識は高いが、冷暖房の温度徹底及びパソコンの未使用時・電気の消し忘れがあり、今後徹底していきたい。
燃料消費量の削減 (2%)	・アイドリングストップの徹底 ・定期的車検整備実施	○	エコ運転の意識は高い。車両の増台の為、増加した。
【 現場 】			
取組対象	取組計画	取組結果	評価(今後の取組方向も含む)
電気使用量の削減 (2%)	・冷房温度 26℃ ・暖房温度 26℃ ・冷暖房のフィルター清掃 ・不要照明の消灯	○	現場が一丸となって、達成することができたが、工事の規模により達成することが出来なかった月があった。今後も維持継続する。

(2)水使用量の削減

【 事務所・現場 】			
取組対象	取組計画	取組結果	評価(今後の取組方向も含む)
水使用量の削減 (2%)	・水の流し放しの禁止 ・協力業者への呼びかけ	○	事務所・現場共に節水に心掛けたが、工事の規模により増加した月があった。今後も維持継続する。

(3)廃棄物排出量の削減

【 事務所・現場 】			
取組対象	取組計画	取組結果	評価(今後の取組方向も含む)
廃棄物排出量の削減 (2%)	・分別回収の徹底 ・B ₁ -用紙削減 裏紙使用	○	工事の規模により増加した月があった。今後も維持継続する。

(4)環境に配慮した施工

【 現場 】			
取組対象	取組計画	取組結果	評価(今後の取組方向も含む)
事故防止・手戻り防止・苦情防止	・事故防止の徹底 ・手戻り防止の徹底 ・苦情防止の徹底	○	事故防止の為、毎日KY活動・安全パトロールを行い、手戻りや苦情防止も無いよう打合せしたり、近隣対策を行った。今後も維持し継続する。

(5)グリーン購入

【 事務所・現場 】			
取組対象	取組計画	取組結果	評価(今後の取組方向も含む)
グリーン購入	・エコマーク商品の購入 ・グリーン購入の促進	○	購入前にカタログ等で検討し購入している。今後も維持し継続する。

(6)地域活動及びボランティア等の参加

【 事務所 】			
取組対象	取組計画	取組結果	評価(今後の取組方向も含む)
地域活動及びボランティア等の参加	・社会活動奉仕	○	香椎宮境内・周辺の清掃を行った。今後も積極的に参加する。

【5.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反・訴訟等の有無】

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りである。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)
建築基準法	事業者名
騒音規制法	杭打ち機・びょう打ち機・削岩機・空気圧縮機
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物・産業廃棄物(廃プラ類・木屑類・水銀使用製品)
建設リサイクル法	新築及び解体改修工事
石綿飛散漏洩防止	建物解体等作業・建築物解体等での石綿ばく露防止
クリーンウッド法	合法伐採木材等の利用確保の措置を講ずる事業所等としての登録
フロン排出抑制法	冷媒用フロンの排出抑制・業務用冷凍空調機器

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

【6.代表者による全体の評価と見直し・指示】

- | | |
|----------|--|
| 1.全体評価 | <ol style="list-style-type: none">1.全員によるエコ活動は推進した。2.事故はなかった。3.二酸化炭素排出量は、車両の増台・公共工事等の工事の規模により、達成出来なかった。4.全社員が節水に力を入れ、削減に努めたが、目標には至らなかった。
水使用量の削減は、限界にきている。今後、目標の見直しが必要である。5.廃棄物排出量の削減は、現場条件により廃棄物の量が変わる。
このため、量の削減には限界がある。
量の削減からリサイクル率の削減に見直す必要がある。 |
| 2.見直し・指示 | <ol style="list-style-type: none">1.継続してエコ活動を推進すること2.継続して事故の無いように、気を付けること3.健康に気を付けること |

【7.その他の環境活動の紹介】

- ・社会福祉活動の一環として、香椎宮境内・周辺の清掃活動を行いました。